



さくら並木

～人口減少対策と地域連携の推進～ 大河原町長 齋 清志

仙南2市7町人口一覧 単位:人

	2010年国勢調査時	2015年国勢調査時	2017年7月1日時点
大河原町	23,530	23,800	23,610
柴田町	39,341	39,533	38,117
村田町	11,995	11,505	11,331
川崎町	9,978	9,167	8,958
蔵王町	12,882	12,324	12,400
七ヶ宿町	1,694	1,458	1,485
丸森町	15,501	13,984	14,043
角田市	31,336	30,193	29,957
白石市	37,422	35,274	34,894
合計	183,679	177,238	174,795

※村田町、川崎町については、6月1日時点の人口

仙南地域の人口減少が予測以上の速さで進んでいます。(左表参照) 国立社会保障・人口問題研究所は自治体の将来人口を推計していますが、この予測は政治や経済の予測と比べて著しく精度が高いと言われています。しかし、仙南地域の人口はこの予測を大きく超えて減少し続けているのです。2010年の国勢調査では、総人口は18万3679人でしたが、この5年後には17万7238人となり、今年7月では17万4795人と884人も減少しています。いよいよ白石市は3万5千人を、角田市は3万人を割り込みました。

そして、高齢化と言われながら高齢者の数すら減少している自治体が増えています。また、出産適齢期の若年女性(20～39歳)の人口も著しく減少し、少子化にも拍車がかかっています。高齢者の減少は、地方経済の最大のキャッシュフローである年金の受給者の減少であり、少子化は働いて納税と消費をする生産年齢人口(15～64歳)の将来にわたる減少につながることを意味する大きな課題です。この結果として、社会保障をはじめ経済全般に負のインパクトをもたらす極めて深刻な事態を招いているのです。かくして、岩手県知事や総務大臣を務めた増田寛也氏の言う『地方消滅』が現実の問題として危惧されることになったのです。

そこで、人口減少に歯止めをかける方策として登場したのが地方創生であり、合わせて少子化対策と国の社会保障改革(年金・医療・介護)への対応であったと理解しています。地方創生も早3年目を迎え、各自治体が5年計画として策定した『まち・ひと・しごと創生総合戦略』などの成果が今まさに問われ始めています。受け止めているところでは、本町では今年度の事業として、まちの中心部に位置する中央公民館を複合化しにぎわい創出の拠点とする施設整備事業と柴田町との連

駅前図書館今月の新刊
まちの本棚

■**ここが肝心！語彙力のへん**
山口 諤司/著 【徳間書店】
何気なく日常使っている言葉でも、いざどのような意味を持つのかを説明しようとするとなかなか出来ない言葉が多い。使い方ひとつで知性と品格がガラリと変わる、語彙93を紹介する。

■**自閉症のつた**
東田 直樹/著 【KADOKAWA】
「自閉症の僕が跳びはねる理由」の著者が、その英語版翻訳者デイヴィッド・ミッチェル氏を訪ねるアイルランド旅行記をはじめ、「二人の対話(Q&Aと往復書簡)、短編『自閉症のうた』、掌編『旅』を収録。

■**寿命凶鑑**
やまくち かおり/絵
いろは出版/編著 【いろは出版】
もやしの寿命(じゅみやう)はたった1日、日本人の寿命は80年以上、屋久杉(やくすぎ)の寿命は1000年以上、太陽の寿命は100億年。寿命は、動物によっても、モノによってもそれぞれまったくちがう。そんな、「つひとつ」の命の輝(かがや)きをイラストで紹介しようか！

■**このあいだにながあった?**
佐藤 雅彦/作 ユーラテス/作 【福音館書店】
もこもこのヒツジと、けがみじかいヒツジ。2まいのしゃしのあいだにながあった? こたえは、「ヒツジのけがバリカンでかられた」です。オタマジャクシとカエル。このあいだにながあった? こたえは、「しゃしんをみながら、すいりしてみましよう。」

学び舎通信

町内小中学校の情報を毎月お届けします

金ヶ瀬小学校

笑顔いっぱい、花いっぱい
地域と共に! 6月11日に、毎年の恒例行事である「花いっぱい運動」がありました。この「花いっぱい運動」は、金ヶ瀬小学校と金ヶ瀬中学校で組織している金ヶ瀬地区校外指導委員会が主となり花植をする活動です。本委員会では、各地区に植栽する花の数や

種類、必要な物品等の検討をして、円滑に活動できるように話し合います。活動当日は、地区ごとに分かれ、保護者と一緒に地区の花壇やプランターに植栽しました。この花いっぱい運動を通して、親子のふれあいや自然を大切にしている心を育てると共に、郷土を愛する児童を育成していきたいと思えます。



金ヶ瀬中学校

生徒会レク大会
はじける笑顔、学年を超えた絆 6月22日の午後、生徒会レクリエーション大会が行われました。この行事は昨年度の生徒会総会で出された要望をもとに、生徒会役員の企画・運営によって実施されました。「ドッジビー」、「伝言

ゲーム」、「5色綱引き」と種目も盛りだくさんで、どの生徒も楽しんでいました。午前中までは期末考査を実施していたこともあり、いい気分転換の時間にもなったようで、2時間にわたって体育館に生徒の歓声が響き渡りました。



暗唱大好き シリーズ①⑥ 大小編



本校では、各学年・学級ごと計画的に、暗唱読本「寿限無」に取り組んでいます。

ある学級では、帰りの会に「暗唱コーナー」を設けて、お題になった作品を全員で暗唱したあと、日直が一人ずつ暗唱に挑戦する取り組みを続けています。はじめのうちは時間が掛かりますが、2週間もすると、とてもすらすら暗唱できるようなので、自分たちの日々の成長を実感できる機会にもなっています。

6月28日には、その成果を全校に発表する「暗唱大



会」を行いました。各学年の代表がステージに上がり、フロアの友達と交互に呼び掛け合うなど趣向を凝らした発表がありました。初めて暗唱に挑戦した1年生は「はたけのうた」を選び、野菜のカードを出しながら楽しく暗唱していました。3年生はみんなが大好きな「寿限無」。発表が始まると、みんなもつられて一緒に暗唱がはじまりました。一人一人の頭のなかに暗唱という知的財産が共有されているのを感じた大会になりました。

